



8/12(日) 琉球王国の歴史を 浦添の地から紐解いてみよう

浦添グスクやようどれ、仲間地域の拝所を散策する「浦添グスク・ようどれ探検」が開催されました。

夏休みということもあり小学生の参加者も多く、クイズ形式で分かりやすく浦添の歴史をまとめたテキストも配布されました。

親子で参加をしていた仲西小学校のうえずあかねさんは「自由研究の題材にしたくて参加をしましたが、今までこんな場所があることさえ知らなかった。参加してよかったです」と感想を述べ、うらおそい歴史ガイドの説明にも真剣に聞き入っていました。



8/16(木) 古代人とお揃いのアクセサリー作り

浦添市歴史にふれる館で特別企画「夏休み体験教室 古代人に挑戦! 貝輪を作ろう」が開催されました。

この企画は古代人が作ったような貝を使ったアクセサリー作りを再現しようというもので、参加した親子らはオオベッコウガサという貝に石を使って穴をあけるところからスタートし、仕上げには紙やすりでピカピカに磨きあげ世界に一つしかない自分だけの貝輪を完成させました。

参加したしまぶくろひなり君(小1)は「難しくはなかった。石で穴をあけるところが一番楽しかった!」と元気いっぱいに答えてくれました。



8/11(土) まちづくりへの溢れる思いを形に

「大成ホーム・シンパネットワーク協力事業 平成30年度 市民の夢応援プロジェクト 第18回浦添市まちづくりプラン賞」の公開プレゼンテーションがハーモニーセンターで行われ、17団体が参加しました。

この事業は、まちづくりに関する自主的な活動・計画を表彰し、その計画の実現に向けた活動に対して助成を行うものです。

各団体の発表では「障がいのある人の“働く”を応援したい」「小湾川沿いにオオゴマダラをとばして地域を活性化したい」などさまざまな視点からまちづくりを考え、音楽を流したり、ダンスを踊るなど工夫を凝らし、思いを込めたプレゼンテーションを行いました。



8/12(日) 生き物にふれ自然を学ぼう 自然観察会

身近な自然や生き物たちについて学ぶ自然観察会が浦添大公園で行われました。観察会では、てだこ環境プランナー成人受講生の皆さんが先生となり、児童生徒に自然や生きもののたちの生態系について教えました。児童生徒たちは先生の話聞きながら、生き物の特徴や感想などをまとめた「環境学習ノート」や、見つけた動植物を大きな地図上にまとめた「自然マップ」を作成しました。

浦城小学校3年生の照屋天琉君は「大きなトカゲ、バッタやカマキリなど、いろいろな生き物がいっぱいいた。服にくっつく葉っぱがおもしろかった」と楽しそうに話しました。



8/8(水) としょかん探検隊、 協力してミッションクリア!

夏休みの特別企画として今年も「としょかん探検隊」が開催されました。探検隊は小学2~6年生の12人で、3つのチームに分かれて図書館から課されるミッションをクリアすることで図書館司書のお仕事を体験できます。指令を受けた児童たちは、一致団結して著者名などをヒントに、多文化コーナーや普段入ることの出来ない閉架書庫から、分野・分類をたどり本を探しました。

館内外以外にも移動図書館としよまる内にも潜入し、説明を受けながら探検を楽しみました。最後は、図書館長から隊員一人一人に修了証書が授与され、みんな誇らしげな表情を見せました。



8/9(木) みんなが通いたくなる 「絆のある学校をつくろう」

浦添市生徒会フォーラムが中央公民館で開催されました。市内の全5中学校の生徒会47人が集まり、「いじめや暴力のない笑顔あふれる学校にするにはどうしたらよいか」について自由な発想で意見を交換しました。

「思いやりの和プロジェクト~優しい気持ちの輪を広げよう~」をテーマに学校生活の中でどのように実践していくかを各中学校混成の6つのグループで生徒自らが主体的に考え、発表を行いました。投票により決定した実践案は、クラスメイトの良いところを見つけたら風船の絵に書き込んでいく「思いやり風船」です。これから各学校へ持ち帰り、みんなで取り組んでいきます。



7/23(月) 人権擁護委員委嘱状伝達式

人権擁護委員委嘱状伝達式が市役所で行われ、仲西起實委員が法務大臣から委嘱を受けました。

人権擁護委員は3年間の任期で、市内小中学校の児童・生徒などに人権尊重のための知識、技術および態度を養う人権教育の教室を開いたり、毎月第1木曜日にはハーモニーセンターで人権相談を行うなど、市民の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動に取り組んでいます。

仲西委員は、「教育現場に携わってきた経験を活かし、市民の人権意識を高めるために精一杯頑張りたい」と力強く抱負を語ってくれました。

話題がいっぱい!
なかゆくい